

藥局法定常備藥と課税に關する質問主意書

右の質問主意書を國会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年四月十一日

小川友三

参議院議長 松平恒雄殿

藥局法定常備藥と課税に関する質問主意書

藥局は法定常備藥、數百種類を常にストックして処方箋の求めに應じてある、これは資本の固定にて之のストックに店舗商品豊富の見方から課税の対照になり高率課税で藥局の經營者は困つてある、資本廻轉の三年に一回ぐらいのこの法定常備藥の課税率の低下を希望し必死で懇願してあるが低下に対し御処見を問う。

右質問に対し答弁を要求する。